



一齊に海へ走り出し、初泳ぎを楽しんだ「まきっず」たち

## 待ちに待った夏の海！

### ■市内海水浴場で海開き

6月30日に静波海水浴場、7月1日にさがらサンビーチで、海開きが行われました。

県内で一番早い海開きとなった静波海水浴場では、シーズン中の安全を祈願する神事が行われた後、静波ライフセービングクラブ「まきっず（ジュニアライフセービング）」のメンバーたちが初泳ぎを楽しみました。

さがらサンビーチでは、海難供養祭と安全祈願神事の後、相良サーフライフセービングクラブによるデモンストレーションが行われました。

## 宝くじ助成で消火活動の資機材整備

### ■自治総合センター 地域防災組織育成事業

牧之原南自主防災会では6月、宝くじの社会貢献広報事業として一般財団法人自治総合センターが行う「地域防災組織育成事業」を活用し、消火活動で使用する資機材を整備しました。

整備した資機材は、可搬ポンプ（C-1級）やポンプ用台車、吸管、管鎗、消防ホースです。

この事業により、自主防災会活動の充実や強化が図られるとともに、災害時の初期消火活動など地域の安心・安全を守る活動において、資機材が有効に活用されます。



整備された可搬ポンプなどの消防資機材

## 災害時に迅速な相互支援を実施

### ■千葉県山武市と災害時協定を締結

大規模な自然災害で被災した場合に相互に迅速な支援を行うことを目的に、千葉県山武市と本市は6月20日、「災害時における相互応援に関する協定」を締結しました。

県外の自治体との災害協定締結は11市町目で、関東圏の自治体との締結は初めてです。

松下浩明山武市長は「牧之原市は、防災に関する準備をしっかりとしており、多くの自治体と協定を結んでいる。私たちもさまざまなノウハウをいただきながら、交流を進めたい」と話しました。



山武市役所で協定を締結した松下山武市長（左）と杉本市長

広報担当がどこにでも取材に行きます。  
あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

情報交流課 ☎0040 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp



## 開港10周年をみんなでお祝い

### ■富士山静岡空港開港10周年記念イベント

6月4日に開港から10年を迎えた富士山静岡空港で、10周年を記念したイベントが6月8日・9日と15日・16日の4日間行われました。

会場では、各航空会社の子ども制服撮影会やプロのカメラマンによる撮影体験「フォトセラ」、ラジオ番組のトークショーが行われたほか、管制塔や消防庁舎、格納庫といった普段見ることができない場所の見学や航空教室、工作教室なども実施されました。

また、特設ステージでは、近隣市町のご当地キャラが大集合して、各地域のPRやクイズ、ジャンケン大会などが行われ、市内外から訪れた多くの家族連れや空港利用者などにぎわいました。



特設ステージで地元のPRをするさかべっち（左）とチャーフィン（右）

## ラグビーの楽しさを体験

### ■ラグビー重点校選手訪問

6月18日、ラグビーのヤマハ発動機ジュビロの選手が川崎小学校を訪問し、5年生74人が体験や講話を通して選手と触れ合いました。

この日訪れたのは、植木悠治選手と高部大志選手です。児童はラグビーボールを使い、パスやタックルなどを体験した後、質問タイムでは「どうしたら筋肉がつくのか」「ラグビーで大事なことは」などたくさん質問をしていました。高部選手は「今年はワールドカップの年。もっとラグビーに注目して、応援して」と呼びかけました。



## 正しい知識で安全に花火を楽しんで

### ■花火教室

勝間田保育園で6月20日、花火教室が行われ、3歳から5歳児が参加しました。

この教室は、各家庭で安全に楽しく花火ができるようにと消防署員や市消防団、女性消防隊が講師となって行われたものです。園児らは、DVD鑑賞や花火に関するクイズ、自分に火がついてしまった時の対処法「Stop drop & roll」などを体験しながら楽しく遊びました。

また園庭では、消防署員らの指導のもと、実際に手持ち花火を使い、正しい遊び方も学びました。



## 正しく磨いて歯を大切に

### ■歯の健康指導

6月17日、菅山保育園で歯の健康指導が行われ、4歳児12人が参加しました。

園児らは歯磨きの大切さを学んだあと、実際にブラッシングしながら正しい歯の磨き方を学んだり、音楽を流しながら、水でフッ素うがいの練習を楽しく行いました。

講師の増田浩子さん（在宅歯科衛生士）は「フッ素うがいがはじまる4歳児のタイミングで、歯や口について関心を持ち、これからも歯を大事にしてもらいたいです」と話しました。